

第5報

平成24年6月23日

大隅河川国道事務所

記者発表資料

国道220号法面崩壊について

05時30分発表

平成24年6月22日10時45分頃、垂水市牛根境付近（国道220号178k000ポスト付近）にて、法面崩壊が発生しました。

当該地区の国道220号線は、全面通行止めを継続しています。

昨夜から、照明車等を利用した現地状況の監視を継続するとともに
TEC-DOCTORの鹿児島大学大学院准教授の井村隆介先生による現地調査結果を
もとに応急復旧の内容等を検討。

本日、午前5時に応急復旧を開始しました。

道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願
いいたします。

なお、今後の発表につきましては九州地方整備局からの発表に一本化致します。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

鹿児島県肝属郡肝付新富1013-1

電話（0994）65-2541

事務副所長

かわぞえ まさずみ

川添 正純（内線202）

調査第三課長

ぬまた ひであき

沼田 英昭（内線451）

国道220号法面崩壊について（第6報）

平成24年6月23日 5:00 現在

1. 概要（今後の見通し）

- 大隅河川国道事務所管内の国道220号垂水市牛根境付近にて法面崩落による全面通行止を継続中。
- 昨夜から照明車等を利用した現地状況の監視を継続するとともに、TEC-DOCTORによる現地調査結果をもとに応急復旧工事の内容等を検討。
- 応急復旧工事の内容は、法面上部の堆積土砂を撤去するとともに、再度の土砂崩落から通行車両の安全を確保するため、延長70m、高さ5mの仮設防護柵を設置するもの。（概要は別紙のとおり）
- 本日、午前5時から応急復旧工事を開始。
- 仮設防護柵の設置後、2車線での供用を行う予定です。
復旧の見通しについては、改めてお知らせいたします。

2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、警戒体制 を発令。

○本部体制履歴

- ・ 6/22 10:45 警戒体制

3. 道路

【規制区間の状況】

- ・ 6/22 10:45 国道220号垂水市牛根境（178k000標 付近）において法面崩落による全面通行止を開始
- ・ 本日、午前5時から応急復旧工事を開始。

【迂回路の状況】

- ・ 迂回路については、別添「迂回路図」参照

【対応の状況】

- ・ 6/22 13:15 TEC-DOCTOR（鹿児島大学 井村准教授）による現地調査を実施
- ・ 6/22 15:40 無人化施工機械3台を現地に向けて派遣。21:40 2台着。23:40 1台着
- ・ 6/22 15:46 防災ヘリコプター（はるかぜ）による上空からの調査を実施
- ・ 6/22 18:40 照明車2台が現地到着。20:10さらに照明車（カメラ付き）1台が到着
- ・ 6/22 22:00 待機支援車が現地到着
- ・ 6/23 05:00 応急復旧工事に着手

※下線部は、今回更新情報

【問い合わせ先】

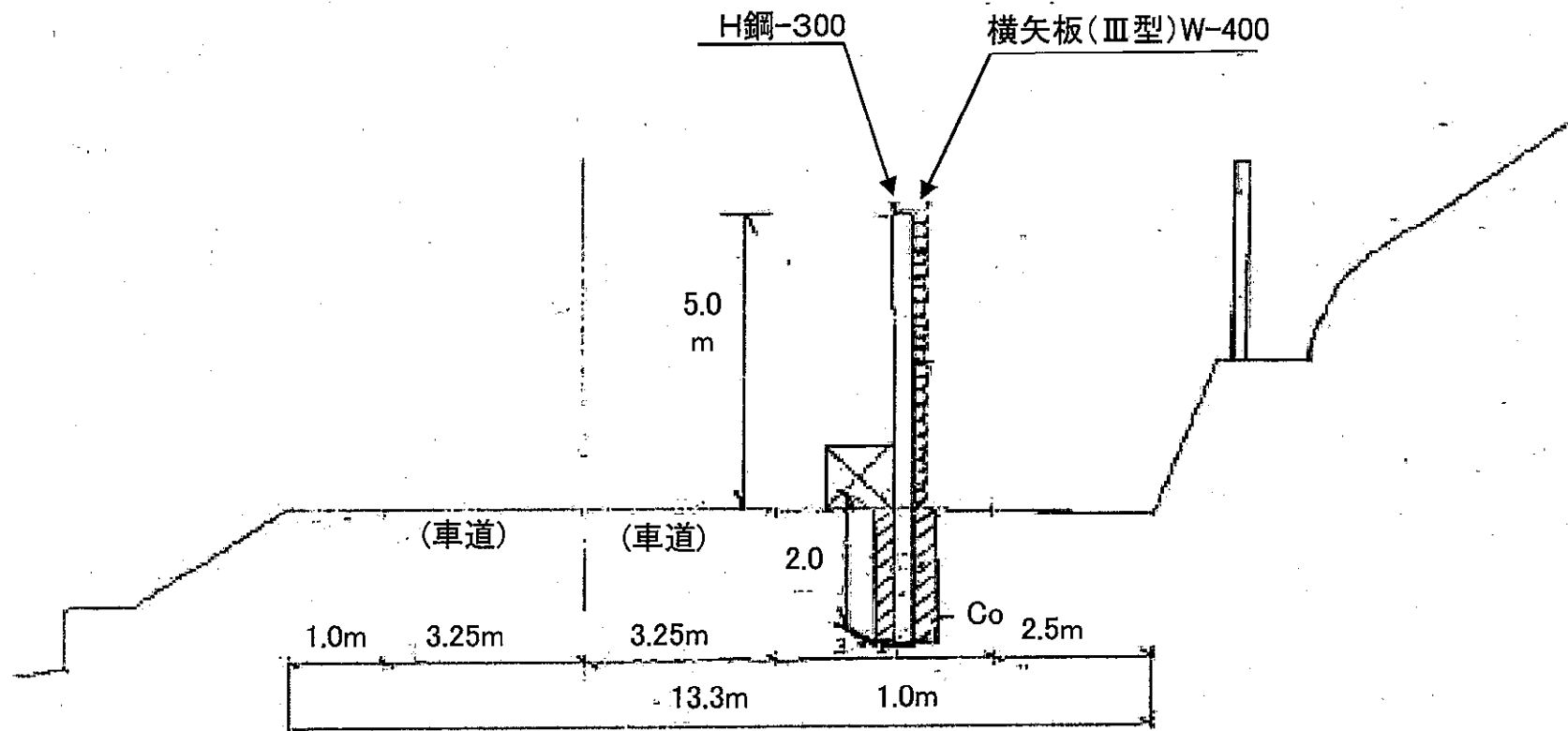
国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 建設専門官 横山 浩
電 話:092-414-7301(本部直通)
FAX:092-481-9210(本部直通)

(別紙1)



(別紙2)

横断図



仮設防護柵設置概要図

迂回路図

